

平成26年度

『保健指導研修企画者・講師のためのアドバイザーワークショップ』

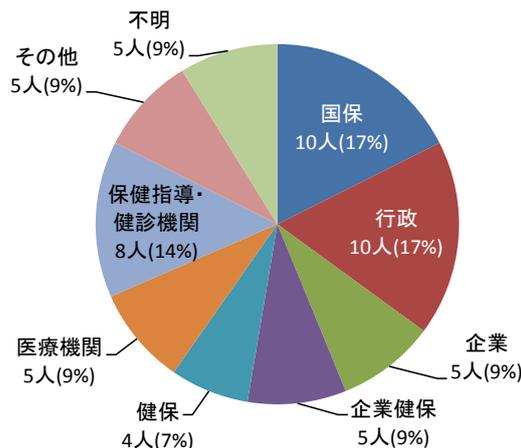
参加者事後アンケート 集計

<ワークショップカリキュラム>

10:00	あいさつ 研究代表者 あいち健康の森健康科学総合センター センター長 津下 一代
10:05	講演 「 研修会に求めるもの 」～健康医療戦略をふまえて～ 厚生労働省 健康局 がん対策・健康増進課 課長補佐 高 山 啓
10:25	<b>ワークショップのねらいと研究報告</b> ●研究の背景と目的 あいち健康の森健康科学総合センター 津下 一代 ●保健指導者に求められる力とは？ 「保健指導者に求められる力(食事・栄養編)」 千葉県立保健医療大学 林 芙美 女子栄養大学 武見ゆかり 「保健指導者に求められる力(身体活動編)」 国立健康・栄養研究所 宮地 元彦 「検査値をわかりやすく伝えるためには」 あいち健康の森健康科学総合センター 村本あき子 ●保健指導力を高める研修のあり方とは？ 「研修企画の課題調査について」 千葉大学大学院 杉田由加里 「協会けんぼとしての研修課題について」 全国健康保険協会 六路 恵子 「e-ラーニングの活用とその効果」 大阪がん循環器病予防センター 中村 正和 「研修会講師を対象としたアンケート調査結果報告」 研究班事務局
11:25	<b>グループワークI</b> <b>「 研修会をプロデュースしよう 」</b> 進行 あいち健康の森健康科学総合センター 津下 一代 【個人ワーク】 ●研修の課題や工夫していることは何か ●研修講師との連携については十分できているか ●企画、準備、当日、事後・次年度にむけて、カテゴリ別に検討
11:50	昼 食
13:00	【グループワーク・課題検討】 ●個人ワークで各自が出した課題等をグループで検討する。
13:30	【グループワーク・発表】 ●企画時に、どのような研修会を展開するか。ワークの中から探求する。
13:40	ミニレクチャー 【研修企画のコツ】 国立保健医療科学院 横山 徹爾 (国立保健医療科学院では研修会をどのように企画・運営・評価しているか)
13:55	休憩
14:10	<b>グループワークII</b> <b>「 演習をどう取り回すか 」</b> 進行 あいち健康の森健康科学総合センター 津下 一代 【研究班作成ビデオの紹介と活用】 ●初回面接 (予告編) ●アルコール 国立病院機構 久里浜医療センター 真栄里 仁
15:10	【グループワーク・事例の検討】 ●研究班作成ビデオ紹介と活用を受けて、研修会やOJTでの活用方法を検討する。 【グループワーク・報告、意見交換】 ●各グループでの討議のまとめを報告する。
15:40	まとめ・質疑応答
16:00	終了

(1) アンケート提出者 所属別分類

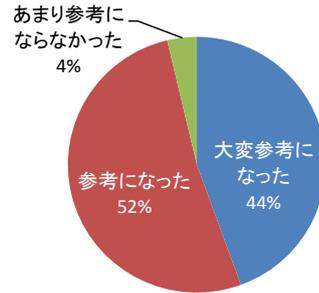
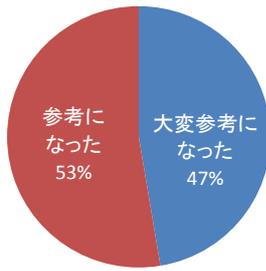
アンケート回収率 83.3% ( 57/66 人)



(2) 「ワークショップのねらいと研修報告」について参考になりましたか。

【国保、行政】 (n=20)

【企業、企業健保、健保、医療機関、保健指導・健診機関】 (n=27)



【参考になった内容】

【国保、行政】

- ・ 保健指導の格差をどう埋めていくのか、今後の研修企画に生かしていきたい。
- ・ 相手の環境をふまえた指導をする必要性。
- ・ 短い時間の中でも、対象者にこちらの意図を伝えられる研修会が実施できることが学べた。
- ・ 科学的根拠に基づく知識の提供の必要性を再認識。
- ・ 各職種によるウィークポイントがわかった。
- ・ 1人1人のために研修をしていることを意識して企画することが大切だと感じた。
- ・ 95%の労働者の健康管理ができていないことに関しては、地域で取り組む体制づくりが必要。
- ・ eラーニングの活用や効果・保健指導力の自己評価調査にある習得度評価について参考になった。
- ・ 個々の報告についてももう少し詳しく聞きたかった。

【企業、企業健保、健保、医療機関、保健指導・健診機関】

- ・ 対象者の腑に落ちる具体的な内容であった。
- ・ 対象者に合わせたプランシートに上手くつなげる。
- ・ 企画者側の意識づけが大事。eラーニング+グループ学習の効果や効率的な方法を提出していけるといい。
- ・ 最新の栄養、運動指導のポイントを理解できた。
- ・ 短時間の中でまとめられていて、本当に大切な部分が抽出されており、指導者に伝える材料の参考になった。
- ・ 内容が盛り沢山で、様々なエビデンスをいただいた。
- ・ 自己評価調査結果からスキルとして不足しているものが明らかになった。(禁煙・禁酒)
- ・ 事後だけでなく、事前のアンケート評価を行いたい。
- ・ 「+10」シンプルなメッセージでわかりやすいというのが、とても印象的だった。より多くの人にも合致するメッセージだと思った。

【その他 (大学関係者・フリー)】

- ・ 2020年の東京オリンピック誘致を例に挙げ、集中力が5分。伝え方が大切だと感じた。
- ・ 保健指導効果は地域格差がある。現状の問題を把握することができ、特徴に合わせた研修企画に生かしたい。
- ・ 「運動」ではなく「身体活動」とコンセプト作り、「+10」など実行可能な行動目標設定。

【より詳しく理解したいと感じた点】

【国保、行政】

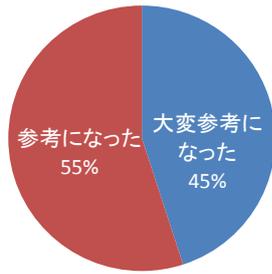
- ・ 外部のアドバイザーを活用時に、どの段階で入っていただくと良いのか、さらに理解したい。
- ・ +10の内容で研修内容を考えるとき、具体的にはどうしたらよいか。
- ・ 協会健保の発表では、支部間の格差(改善率)の説明をしていたが、原因分析を詳しく知りたい。

【企業、企業健保、健保、医療機関、保健指導・健診機関】

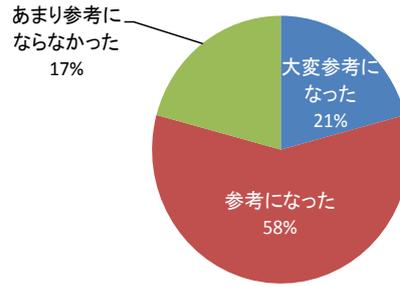
- ・ 「保健指導力についての自己評価 (何をもって、「できる」とするか、ものさしがあるとよいと思う。)」の詳しい結果や分析手法について理解を深めたい。
- ・ 自己評価を実施しているが、他者評価と一致せず、フィードバックが煩雑になりがち。面談の真の「質」はどちらなのか、その測り方があれば知りたい。

(3) グループワーク I 「研修会をプロデュースしよう」について

【国保、行政】 (n=20)



【企業、企業健保、健保、医療機関、保健指導・健診機関】 (n=27)



【グループワークを通じて良かった点・より具体的な話し合いが必要だと感じた点】

【国保、行政】

- ・ 企画段階での課題が多く出た。ニーズの把握は対象によっても異なるため、話し合いが参考になった。
- ・ グループワークを通じて、情報共有ができたと共に、できていないことに気づくことができた。
- ・ 目的をしっかり持たないといけないと理解した。
- ・ グループワークにて工夫している点など学ぶことができ、これから生かしていきたい。
- ・ 他県や各立場の意見を聞くことにより、同じようなことで悩みがあることがわかった。企画の仕方について、もっと議論したい。
- ・ 時間が足りない。事前に考えてきたことを話し合った方が効率的。受講前に考えて、指示があった方がよい。
- ・ 市町村、保険者格差が明らかになってきた今、初任者、スキルアップ、マネジメント等段階に応じた研修企画が必要と感じた。事前・事後アンケートはとってはいるが、その後のフォローはしていないので今後はとっていききたい。(どのように改善されたか等)
- ・ 企画と準備段階での工夫がとても大切だと思うので、もう少し話し合えればよかった。
- ・ 研修を行うときの基本的に大切にしていけることが確認できたと思う。内容が濃かったので、消化するのに時間がかかると思った。
- ・ 国や都道府県など規模によって準備が大変だと思った。

【企業、企業健保、健保、医療機関、保健指導・健診機関】

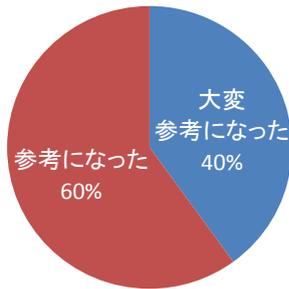
- ・ 情報が共有できてよかった。時間配分をよく理解してから望めばよかった。
- ・ 現在は、外部講師を使ってプロデュースする立場ではないが、課題がわかり、自分で企画する研究にも応用できそうに思えた。
- ・ 企画するうえで、目的や到達目標等をしっかり立ててチームで共有すること、事前事後評価で次年度に生かせることが理解できた。
- ・ グループ内の方からとても良い参考例を聞いた。メンバーは、保健指導者の組織だからこそ、職員のレベルをI～Vまで分け、レベル毎のスキルアップ研修をしていた。2年目であっても上手く研修できればファシリテーターを担当できる。
- ・ 短い時間の中で意見を出し、まとめていく力は、とても必要なことだが、現在はまだトレーニングできていないと感じた。

【その他 (大学関係者・フリー)】

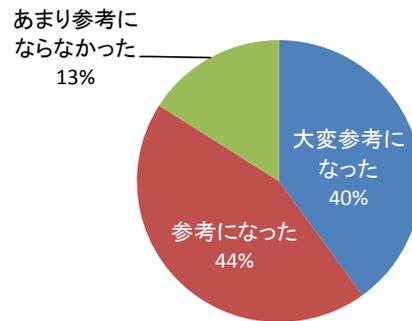
- ・ 他所属の方の工夫やお互いの悩み、できていることを共有できて参考になった。
- ・ 質をどう評価していくか。目的評価も重要だが、どう行うとよりよいのか、もう少し深く知りたい。
- ・ 評価の仕方が参考になった。
- ・ 同じ保健指導でも、所属によって異なる。今回は保険者、行政関係者が多かったと思われる。

(4) グループワークⅡ「演習をどうとり回すか」について

【国保、行政】 (n=20)



【企業、企業健保、健保、医療機関、保健指導・健診機関】 (n=27)



【グループワークを通じて良かった点・より具体的な話し合いが必要だと感じた点】

【国保、行政】

- ・ 具体的な指導場面が分かり、参考にしたいと思う。
- ・ 指導力の格差は自身のスキルアップにかかってくるので、今後も課題となると思った。
- ・ ビデオを見て、感じることはみなさん同じ。方向性は同じなので、研修会を主催する際の参考にしたい。
- ・ ビデオ活用など教材の工夫をすることも、大切であると感じた。
- ・ 研修会の具体的な企画評価等、国立保健医療科学院の事例をもって紹介いただけたのがとてもよかった。
- ・ 分かっているつもりでいたことも、他の人の意見を聞くと視野が広がるだけでなく、他の疑問に思っていたことも解決できた。話し合いは大切だと思った。
- ・ ビデオ教材を活用することで、全国で一定レベルの研修ができると感じた(現状では適切な講師がいなくて、内容が薄くなっている分野などで効果的)。

【企業、企業健保、健保、医療機関、保健指導・健診機関】

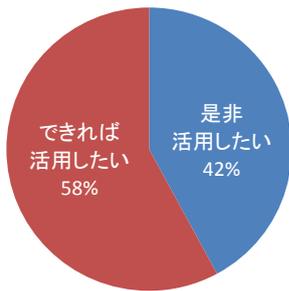
- ・ アンケート調査をしているが、それを上手く活用できていない。
- ・ 他の人の意見がとても参考になった。
- ・ 企画のコツがとても使えると思った。できていないことが見えた部分とできていないことすら見えていない部分が存在する。
- ・ 面接方法の善し悪しは第3者として、客観的に見ることができ学ぶことが多いと思った。
- ・ ライブ指導が一番とのことでしたが、やはり指導者のスキルに依るところが大きくなってしまっているので、ビデオは良いツールだと思った。
- ・ もっと多くの実例を知りたかった。
- ・ 研修企画をしたことのない方がほとんどであった(グループ内)。全体発表も内容が目新しいことがなかった。

【その他 (大学関係者・フリー)】

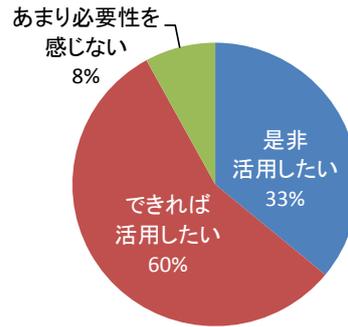
- ・ FRAMESの視点について詳しく知りたい。
- ・ 研修を実施してアンケートの中に演習がしたい実際の指導場面をみたいなどあり参考になった。
- ・ 成果を出すには、参加者企画。
- ・ 具体的な内容で解りやすかった。

(5) 研究班作成ビデオ教材を活用したいと思いますか。

【国保、行政】 (n=20)



【企業、企業健保、健保、医療機関、保健指導・健診機関】 (n=27)



【ビデオ教材について気づいた点】

【国保、行政】

- ビデオの教材は見るとわかりやすい。使用の際は対象者が限られてしまう。
- 保健指導は1対1での実施であるため、基本的なポイントを示せる事例があるとよいと思った。
- アドバイスがあったように、家庭用VTRで自身の指導場面を録画し、指導スキルを検討することはすぐに活用できそうだと感じた。
- 分かりやすい教材だった。活用を検討したい。
- 保健指導のスキルアップに有効だと思った。
- 一般的な対象者のビデオであったため、いろいろなケースのビデオがあるとよい。
- 視覚に討えるビデオ教材はとても良いと思った。
- 解説を行う職員、ロールプレイを支える事務局職員のスキルが必要だと感じた。
- VTRを活用した意見交換・グループワークをやってみたいと思った。
- 現場でとても参考になる。(特に初任者)
- 保健指導の経験年数に関係なく、良い例・悪い例が共通認識できるので教材としてはとても有用。
- 研究班作成のビデオは今後無料で活用できるようになるのか知りたい。

【企業、企業健保、健保、医療機関、保健指導・健診機関】

- 良いとか悪いとか出さない方がよい。良い例も突っ込みどころは沢山あるように思う。研修の題材として、絶対必要だと思った。
- 良い指導に「賞賛」や「オープンクエスチョン」など、行っているスキルのチャプターが入ると、専門用語を実際にどう使うかがわかるのではないかと。禁煙版もあるとよい。
- 保健指導者育成に活用したい。ビデオはどのくらいの費用でどこに申し込めば使えるか知りたい。
- 禁酒というと、治療ベースでの入り口として、依存症のスクリーニングという印象が強かったが、こういう活用方法でいいなら是非活用したい。
- うなずきはあったが、おうむ返し、キーワードを返すなどもう少し返し方をきちんとするとリアリティーが高くなるかと思った。理解した後、行動に移すにはもうひと工夫いるのかなと思った。
- 長さとしてちょうどよい長さだと思った。
- 市販されているものを使用しているため必要性を感じない。

(6) ワークショップ全体を通じて、何かご意見ありましたらご記入ください。

【国保、行政】

- ・ 盛沢山の内容で、大変勉強になった。研修開催に向けて、参考になった。
- ・ 事前に学習する時間があるとより効率的に進むと思った。
- ・ 全体での参加者名簿がいただけるとよかった。  
(どのような機関から参加されているのか知りたい)
- ・ 疑問な点について、その場で回答していただいていたよかったです。
- ・ 改めて、奥深さを感じた。もっともっと練って研修企画を立てなければならないと思う。
- ・ 評価や研修のモチカなど、とても参考になった。
- ・ 保健指導実践者育成研修会の開催が来年度で、9年目を迎えるような構成にしていこうか悩んでいたが、コツをたくさんご教示いただきありがたかった。あとは実行するのみ！今回のワークショップの手法を参考にひとつずつ実践していく。かゆいところに手の届く研修内容だった。
- ・ すばらしい講師を集めて大変有意義な研修になった。
- ・ 保健指導のスキルを上げることが、質を高めることにつながる。常に初心にもどり、自己を客観的にみていきたい。
- ・ 研修を企画するには悩みが多い。チームで相談しながら行うことが大切だと思った。
- ・ 実践者育成研修の企画段階で、基礎、実践、評価編、それぞれの単位が決まっていて、プログラムをたてるのに障壁になっている。(参加者にあわせた内容として計画できない。) 応用のきくものにしていただけると現場に即した研修ができる。(全体として3日 or 4日で組み立てるので)

【企業、企業健保、健保、医療機関、保健指導・健診機関】

- ・ もっとゆっくり拝聴したいくらいだった。
- ・ 保健指導の「質」「スキル」それを客観的に測る物差しはできるか？参加者が選んで参加できる研修を考えていきたい。講師やアドバイザーのリクエストなどあったらいいと思った。
- ・ 我々は結果を出す保健指導が売り上げなので、自らのスキルアップを進んで行う「営業マンの売り上げの評価」に似たものを取り入れることも必要。
- ・ 研修に参加させる上司へのアプローチが必要。
- ・ 講師の先生方ご自身もご自分の担当以外を聞いて、また、本研修会の全体を見てどのような感想をお持ちなのか興味がある。
- ・ 企画者、講師の先生方との意見交換はたくさんの収穫になった。
- ・ 研修の実践報告(実例発表)等あるともっと持ち帰れると思った。
- ・ 禁煙禁酒を含め、保健指導の必要性を感じた。
- ・ 総論をどのように現場に活かせるプログラム作りに落とし込むかが課題。
- ・ グループワークにアドバイザーとして先生方が入ってくださるのがとても参考となりました。
- ・ 研修会の評価の1つとして「組織にとってどうだったか？」という評価視点で確認したい。

【その他(大学関係者・フリー)】

- ・ アルコール以外のビデオ教材もほしい。
- ・ Web学習はぜひやってほしい。
- ・ ディスカッションの時間が足りなかった。
- ・ 他の研修ではなかなか聞けない内容であり、今後の研修に活用したい。